

---

# 名無しの旅日記

秤 晶

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

名無しの旅日記

### 【著者名】

NO455N

秤 晶

### 【あらすじ】

目を覚ますと記憶を喪失していた男の旅日記、のんびりといきた  
いが男の旅はどうなるのか！？

## 一 田畠（前書き）

田が覚めるとそこはだだつ広い草原だった  
寝起きの俺は一回伸びをして足元のカバンから取り出したメモ帳の中を見た時に気が付いた

俺はいったい誰で今まで何をしていたのか覚えてないことに・・・

どうやら俺は記憶喪失のようだ

とりあえずカバンの中をみたが入っていたのはこのメモ帳と筆記用具、食物、水筒、本、サバイバルキット、お金と思われる硬貨数種類などと手がかりになりそうなものは入っていなかつた

このカバンは不思議で質量保存の法則を無視しているようだ  
後々思ったが俺がこの時にこのことをあまり気にしていなかつたのはこれが俺にとつて使い慣れていたからじゃないかと思う

カバンを漁つていたら日が暮れそうになつていたのでサバイバルキットに入っていたテントを立てて今日は寝ることにした  
明日は向こう側に見える道らしきものを見に行こうと思う

起きたら太陽が真上に来ていた  
寝すぎた感があるが目覚めはバツチリだ

今日は昨日見つけた道らしきものをまで行った  
獸道っぽいが一応轍があるので人の道のようだ  
草の生えぐわいからして多少の交通があるようだ  
とりあえずそこの棒を倒して行き先を決めてみた

ある程度歩いていると森が見えたが田もくれそうだから今日もここ  
らで休むとしよう

昨日よろはテントの組立がうまくいった、少し嬉しかった

晩飯を食べている時に気がついたがこの水筒の中の水は減らない  
ようだ  
さすがにひっくり返す勇気はないが今度検証してみよう

寝る前にカバンに入っていた本を読んでみようと思ったがタイトル  
に『』とあるだけで中は白紙だった  
ガツカリ感が大きいので今日はここで寝ることにする

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0455z/>

---

名無しの旅日記

2011年12月1日20時59分発行